

漁船海難月報 平成31年1月号

第七管区海上保安本部
交通部安全対策課 発行

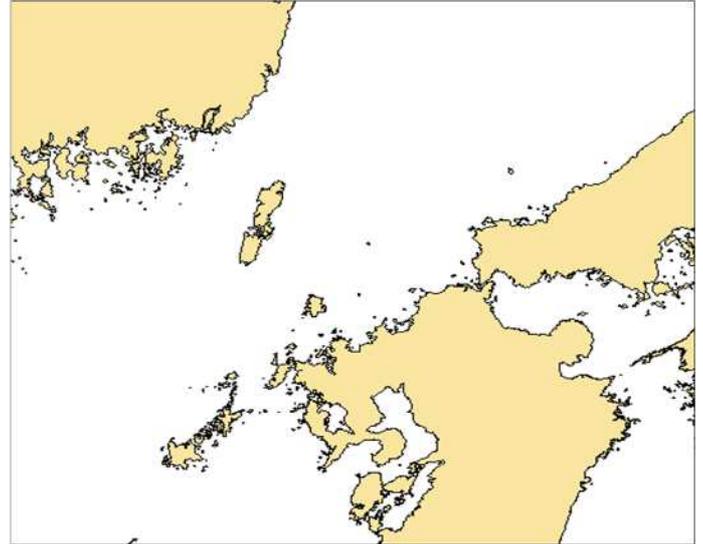
平成30年12月
七管内漁船海難 計 11隻

12月の漁船海難発生地点

漁船海難隻数 (速報値)	
衝突	1
乗揚	2
火災	1
転覆	1
運航不能 (機関故障)	1
運航不能 (推進器障害)	1
運航不能 (無人漂流)	2
運航不能 (有人漂流)	1
運航不能 (その他)	1
合計	11隻

	県別内訳	
	12月	H30累計
山口県	0	14
福岡県	3	25
佐賀県	1	7
長崎県	5	50
大分県	2	21

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



< 事故事例 > 見張り不十分

A丸は、自動操舵にて前方の見張りをせず、後部甲板で漁の準備をしていたため、浅瀬に乗揚げてしまいました。

その後、A丸の僚船と海上保安官が協力しA丸を浅瀬から引き出し、巡視艇が港まで曳航しました。



見張りをしない航行は、重大事故を引き起こします。
前方の見張りを厳重にして安全な航行を心がけましょう！

漁船セーフティラリー終了！
参加239団体中、211団体が無事故を達成しました！

皆様、次回も頑張りましょう。

